

バス停からの 小さな旅



18 バス停「古井駅(むくの木・そうきち線)」 から旧古井郵便局を訪ねる



▲交差点の角に建つかわいらしい旧古井郵便局

飛騨街道から山之上街道への分岐点の近く、森山町本町交差点の角に古い洋風建築が残っています。これが旧古井郵便局です。大正5(1916)年の郵便局の開設当初のものと推測されており、大正11(1922)年に開業した古井駅よりも前からある建物です。

開設以後、この施設は地区の郵便業務を担うと同時に、昭和3(1928)年に特設電話交換業務が開始するなど、住民のネットワークを陰で支えてきました。

現在の郵便局は古井駅のすぐ南に移転し、旧郵便局は公的な利用はされていません。しかし瓦ぶきの寄棟屋根をよく見ると、軒の端の鬼瓦の部分に通信省(か)つて存在した行政機関名(「〒」)のマークが入っており、郵便局としての面影をしのばせています。

昭和初期、建物のすぐ西側には広場があり、そこは毎年盆踊りなどの行事が開かれるような、人々の集う空間であったそうです。地域の「つながり」を支え、見守ってきた旧古井郵便局。眺めていると、当時の森山のにぎやかな情景が浮かんできます。

【参考】古井町役場「大古井」(1933年)



▲鬼瓦の「〒」マーク



今回乗車したバス

行き・帰り むくの木・
そうきち線(右回り)3便

09時22分 美濃太田駅南口
09時36分 古井駅

高山本線を川辺方面に
古井商店街の風景を眺
めながら5分ほど歩き、
交差点の角に佇む旧古
井郵便局に出会う

10時21分 古井駅
10時35分 美濃太田駅南口